

GIS等を活用したアライグマ対策の取組 ー茨城県ー

【基礎情報】

○位置

茨城県土浦市、古河市、石岡市、結城
市、下妻市、筑西市、坂東市、かすみがうら
市、桜川市、八千代町



○主な対象獣種

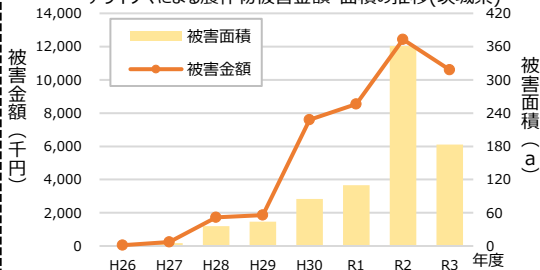
- 中型獣類 (アライグマ)

○活用した技術

- GIS (QGIS)
- センサーカメラ(strike force HD ProX)
- アプリ (鳥獣業務管理システム ディアナ)
- 電気柵監視システム (EfMoSJr.)
- 中型獣用電気柵 (かたまったくん)

○地域の状況

アライグマ等の生息域や農作物被害範囲が拡大しており、中型獣類への対策が喫緊の課題となっている。

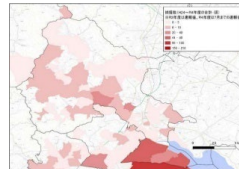


【取組内容】

Plan : 計画

生息・被害状況等の調査結果を鳥獣業務管理アプリ及びGISを活用して可視化、それを基に被害対策を計画。

- ・ヒアリングにより、生息状況、農作物被害状況、被害防止対策を調査。
- ・鳥獣業務管理アプリ「ディアナ」を用いて捕獲わなの設置位置、捕獲の結果、目撃情報を入力。



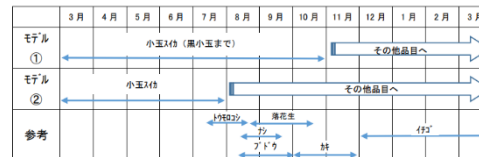
捕獲位置 (字單位)



ディアナシステム及び ヒアリング情報の可視化

Action : 改善

効果のあった3品目への中型獣用電気柵の導入を推進するとともに、その他品目(小玉スイカ等)で効果検証を実施。



※複数品目でモデル圖を設け

次年度のモデルは場設置スケジュール案

Do : 実行

被害リスクの高い農作物を選定した上で、モデルほ場に電気柵監視システム付きの中型獣類用電気柵を設置。



設置された電気柵

Check : 点検

アライグマ等の生態及び GIS を活用した被害防止対策
に知見を有する専門家を招いて被害対策検討会を開催。

- 中型獣類用電気柵を設置したモデルほ場において、ブドウ、カキ、イチゴの3品目について、中型獣類による農作物被害の軽減効果が確認された。



センサーカメラにて撮影されたアライグマ

【取組の成果及び評価】

- ・ヒアリングによって把握した課題をとりまとめ、位置情報を伴う情報はGISにより可視化し、対策の状況を共有できた。
- ・調査結果を元に、広域的に取り組むべきアライグマ等の被害防止対策案を作成した。
- ・電気柵監視システム付きの中型獣類用電気柵を設置したモデルほ場で、農作物被害の軽減効果が確認された。

【今後の展望、取組の普及方針】

- 次年度のモデルほ場に中型獣類用電気柵を設置するとともに、箱わなによる捕獲を実施し、被害防止対策の効果の確認及び評価を行う。また、モデルほ場での研修会を開催し、周辺農家への被害対策の普及を図る。
- 行政、農家、JA 等多様な関係者を一堂に会しての改善策の検討を行う。

実施主体：茨城県 農林水産部 農地局 農村計画課 農村活性化担当 TEL029-301-4264

GIS等を活用したアライグマ対策の取組 ー茨城県ー

参考：GIS画面イメージ

- メスの捕獲位置
- オスの捕獲位置
- わなの設置位置

※ 継続的にデータを蓄積することで、捕獲対象を絞った対策の検討に活用できる。

